



しんじょう
神奈川県立新城高等学校
 KANAGAWA PREFECTURAL SHINJO HIGH SCHOOL



所在地：神奈川県川崎市中原区下新城 1-14-1
 電話：(044)766-7456
 F A X：(044)752-7812
 U R L：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/shinjo-h/
 創立：昭和 38(1963)年 5 月
 課程：全日制
 設置学科・生徒数・学級数

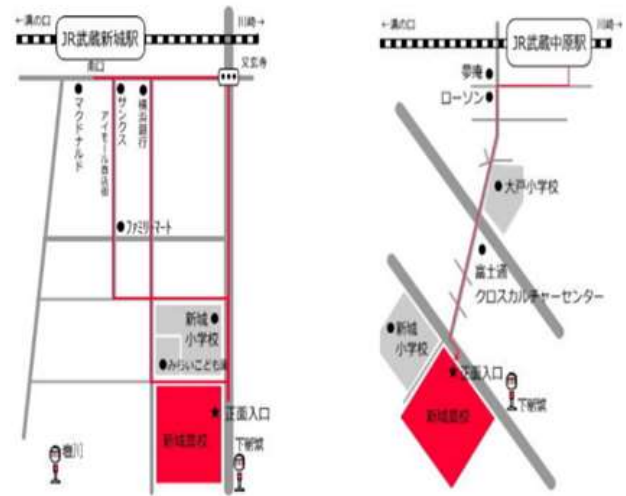
	1 年	2 年	3 年	計
普通科	276	271	276	823
学級数	7	7	7	21

(生徒、学級数については令和 5 (2023)年 5 月 1 日現在)

〈学校案内図〉

利用交通機関

- JR 南武線 武蔵新城駅 徒歩 12 分
- JR 南武線 武蔵中原駅 徒歩 12 分
- 川崎市バス・東急バス「下新城」下車 徒歩 3 分
- 川崎市バス・東急バス「岩川」下車 徒歩 7 分



(1) 学校の特徴

川崎市のほぼ中央に位置し、JR南武線武蔵中原駅、または武蔵新城駅から平坦な道を徒歩 12 分の閑静な住宅地にあります。昭和 38(1963)年に、地元の熱心な誘致活動によって開校した全日制普通科の高等学校で、昭和 60(1985)年から海外帰国生徒を受け入れてきました。令和 5 (2023)年 5 月現在の生徒数は 823 名(21 学級)で、生徒は伸び伸びとした雰囲気の中で、明るく勉学や部活動に日々励んでいます。自由な雰囲気の中でも自らを律し、互いに個性を尊重しあうことが校風となっており、海外帰国生徒は皆、本校にすぐに慣れ親しみ、各々の個性を活かすことができると述べています。

新城高校では、本校で身につける 7 つの力として「1 基礎学力・大学や社会につながる発展的学力」「2 知的探究心・主体的に学ぶ力」「3 自ら考え、判断し、表現し行動する力」「4 人間関係を形成するコミュニケーション力」「5 多様な価値観を理解し、他者と協働する力」「6 ルールやマナーを守り社会や集団に参画する力」「7 自己を律する力と、自己を確立し自立する力」を掲げています。

特色の一つにシチズンシップ教育の取組みがあり、身近なことや社会の問題を自分の問題として考え、能動的に責任ある行動をとることができる市民としての態度や能力を養うことを目標として「総合的な探究の時間」や特別活動を通して、様々な教育活動を行います。また、令和 4 (2022)年度から 3 年間は、県教育委員会から県立高校改革実施計画 (Ⅱ期) の中で、教育課程研究開発校「学習評価に係る研究」の指定を受けています。



学習面では、令和4(2022)年度からの「学習評価に係る研究」指定校としての取組みと相まって、一人ひとりの興味・関心を知的探究へ深めるため「主体的・対話的で深い学び」への取組みやプレゼンテーション能力向上などをめざした授業を展開します。また、卒業後の自分の将来像が描けるように3年間のキャリアプランづくり、キャリア講演会の実施、大学模擬授業体験等を通してキャリア教育を展開します。

文化祭・体育祭に加えて合唱コンクールといった学校行事も大変盛んで、充実した高校生活を謳歌できます。また、部活動は、現在23部1同好会があり、毎年全校の8割を超える生徒が活動しています。

(2) 教育課程

平成15(2003)年度から二学期制を導入し、平成28(2016)年度からは50分週32コマの授業を実施しています。月曜日と木曜日は、7校時まで授業があり十分な授業時間を確保します。

新城高校では、基礎学力の充実向上と、それを発展させる幅広い選択科目を設定しています。3年間を通して、生徒一人ひとりの能力や個性を引き出し、国公立・難関私立大学への入学や大学等の卒業後までを意識し、希望する進路を実現できるようなカリキュラムを編成しています。新教育課程は、次のとおりです。

1年次：芸術「音楽、美術」の選択以外は必修科目で基礎学力を養います。

2年次：必修科目で基礎学力を定着させるとともに、選択制を導入し、希望進路の早期実現を図ります。

3年次：多様な選択科目で、興味・関心・進路希望に応え、進路実現をめざします。

1学年は、「現代の国語」「言語文化」「歴史総合」「数学Ⅰ」「数学A」「物理基礎」「化学基礎」「体育」「保健」「英語コミュニケーションⅠ」「論理・表現Ⅰ」「家庭基礎」「情報Ⅰ」「総合的な探究の時間」が必修となります。また、芸術科目は、「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」の2科目のうち1科目の選択必修となります。

2学年は、学習の幅を広げると同時に深さを増すように工夫された教育課程になっています。「論理国語」「文学国語」「古典探究」「地理総合」「公共」「数学Ⅱ」「数学B」「数学C」「生物基礎」「体育」「保健」「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅱ」「総合的な探究の時間」が必修、さらに生徒一人ひとりの興味・関心、進路に応じて「日本史探究」「世界史探究」「物理」「化学」「音楽Ⅱ」「美術Ⅱ」の6科目の必修選択科目から1科目を選んで履修することになっています。

3学年は、必修選択科目に加え、多彩な自由選択科目を取り入れた教育課程になっています。「論理国語」「体育」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅲ」「総合的な探究の時間」が必修、それ以外は、18科目の必修選択科目の中から3科目を選択します。さらに15科目の自由選択科目から4科目まで選択することもでき、多様な進路への対応が図られています。

詳細については、今後、変更の可能性もありますので、学校見学、ホームページ等でご確認ください。

令和4年(2022)年度から、授業時間を活用して実用英語技能検定を全員が受けられるようにしました。

1学年は準2級、2学年は2級を基本としつつ、実力に応じて上級をめざすこともできるようになっています。

(3) 海外帰国生徒の学習

令和5年(2023)年4月現在、海外帰国生徒は23名(1学年8名、2学年6名、3学年9名)が在籍しています。海外帰国生徒特別募集、編入学など入学時期は異なりますが、伸び伸びと学校生活を送っています。

クラス編成については、海外帰国生徒は一般生徒と特に区別せず、一緒に学べるようになっています。同じ教育課程で学習しますが、海外生活で不足しがちな国語・数学・理科・地歴・公民及び外国語の6教科について、基礎学力の補充のため、本人の学力の状態や希望により、必要に応じて放課後等を利用して補習などを行うことにしています。

(4) 海外帰国生徒の卒業後の進路

新城高校の生徒のほとんどが、上級学校へ進学しています。海外帰国生徒もほとんどが大学への進学を希望し、実際に進学しています。なかには、帰国生徒であることを生かした受験をする生徒もいます。大学進学などの第一志望を叶えるためには、一定の努力は必要ですが、目的意識を持って進路選択を行い堅実に学習に取り組んでいけば、進路面で不安を感じることはありません。